



2022年5月10日

各 位

上場会社名 矢作建設工業株式会社  
代表者名 取締役社長 高柳 充広  
(コード番号 1870 東証プライム・名証プレミア)  
本社所在地 名古屋市東区葵三丁目19番7号  
問合せ先責任者 コーポレート本部  
経理部長 佐口 芳樹  
TEL 052-935-2348

## I R資料 当社グループの経営現況について

### 2022年3月期 連結決算

当社グループの2022年3月期連結決算の概要と経営現況を以下の通りまとめましたので、ご参照下さい。

#### ○目次

I.	連結損益の状況について	1
1.	連結経営成績	1
2.	受注高、次期繰越高総括	2
3.	業績予想との比較	2
II.	事業別の概況	3
1.	建築工事	3
2.	土木工事	4
3.	不動産事業	5
III.	連結財政状態	6
IV.	来期予想について	7
V.	配当について	7
VI.	参考情報	8
1.	連結業績の推移（5年分）並びに予想	8
2.	連結子会社の状況	9
3.	受注高、売上高及び次期繰越高（連結）	10
4.	受注高、売上高及び次期繰越高（個別）	11

## I. 連結損益の状況について

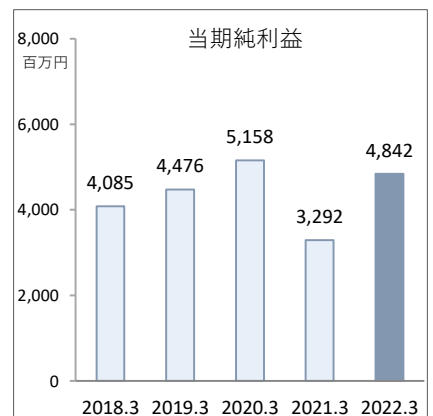
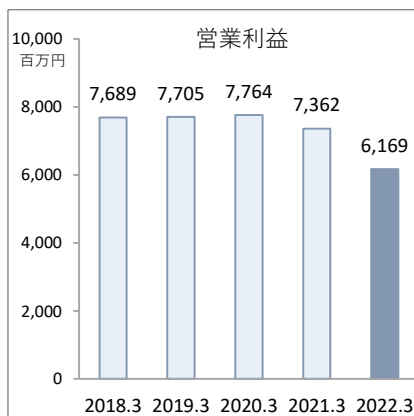
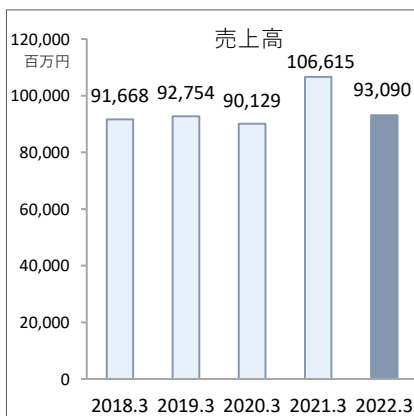
### 1. 連結経営成績

<b>&lt;売上高&gt;</b>	
建設事業	: 建築工事、土木工事ともに期初の手持ち工事が減少した影響などにより前期比134億円の減収。
不動産事業	: 自社開発の産業用地販売が増加したものの、分譲マンション事業が大きく減収となったことにより前期比1億円の減収。
合計	: 売上高全体では前期比135億円の減収。
<b>&lt;利益&gt;</b>	
建設事業	: 減収の影響が大きく、売上総利益は前期比13億円の減益。
不動産事業	: 三重県桑名市で手掛けた自社開発用地を販売したことなどから、売上総利益は前期比5億円の増益。
合計	: 建設事業の減益幅が大きく、売上総利益、営業利益、経常利益の各利益段階で減益。当期純利益は、政策保有株式の売却益を特別利益に計上し、かつ前期のような多額の特別損失計上がなかったことから、前期比15億円の大幅な増益。

### □ 連結経営成績

(単位:百万円)

	2018.3	2019.3	2020.3	2021.3	2022.3	前期比	
	実績	実績	実績	実績	実績	増減額	増減率
売上高	91,668	92,754	90,129	106,615	93,090	▲ 13,524	▲ 12.7%
完成工事高	76,241	77,958	73,881	92,406	78,993	▲ 13,412	▲ 14.5%
不動産事業等売上高	15,427	14,796	16,247	14,208	14,096	▲ 111	▲ 0.8%
売上総利益	15,915	16,509	16,300	15,699	14,935	▲ 764	▲ 4.9%
(売上総利益率)	(17.4%)	(17.8%)	(18.1%)	(14.7%)	(16.0%)		1.3pt
完成工事総利益	10,997	11,738	11,457	11,689	10,379	▲ 1,309	▲ 11.2%
不動産事業等総利益	4,918	4,770	4,842	4,009	4,555	545	13.6%
販売費及び一般管理費	8,226	8,804	8,536	8,336	8,765	428	5.1%
営業利益	7,689	7,705	7,764	7,362	6,169	▲ 1,193	▲ 16.2%
(営業利益率)	(8.4%)	(8.3%)	(8.6%)	(6.9%)	(6.6%)		▲ 0.3pt
経常利益	7,714	7,747	7,829	7,445	6,174	▲ 1,270	▲ 17.1%
(経常利益率)	(8.4%)	(8.4%)	(8.7%)	(7.0%)	(6.6%)		▲ 0.4pt
親会社株主に帰属する当期純利益	4,085	4,476	5,158	3,292	4,842	1,549	47.1%
(当期純利益率)	(4.5%)	(4.8%)	(5.7%)	(3.1%)	(5.2%)		2.1pt



## 2.受注高、次期繰越高総括

### <受注高>

建築工事、土木工事ともに大型工事を複数受注したことなどにより、前期比112億円の増加。

### <次期繰越高>

受注高が増加したことで、来期以降の売上高に寄与する次期繰越高も前期比118億円の増加。

#### □ 受注高

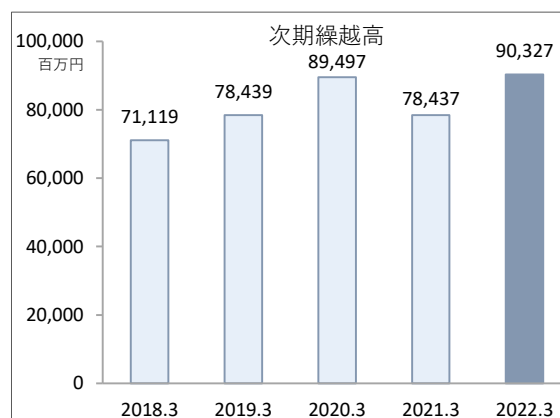
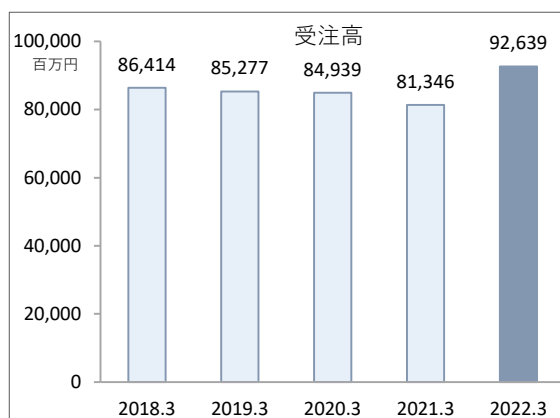
(単位:百万円)

	2018.3	2019.3	2020.3	2021.3	2022.3	前期比	
	実績	実績	実績	実績	実績	増減額	増減率
建築工事	57,162	51,504	59,721	52,515	60,072	7,556	14.4%
土木工事	29,251	33,773	25,218	28,831	32,567	3,736	13.0%
合計	86,414	85,277	84,939	81,346	92,639	11,293	13.9%

#### □ 次期繰越高

(単位:百万円)

	2018.3	2019.3	2020.3	2021.3	2022.3	前期比	
	実績	実績	実績	実績	実績	増減額	増減率
建築工事	40,020	43,130	58,588	52,469	62,064	9,594	18.3%
土木工事	31,099	35,308	30,908	25,967	28,263	2,295	8.8%
合計	71,119	78,439	89,497	78,437	90,327	11,890	15.2%



## 3.業績予想との比較

### <業績予想との比較>

2022年2月4日に公表した修正業績予想に対し、売上高は予想を下回ったものの、営業利益、経常利益、当期純利益は概ね予定通りに着地。

#### □ 業績予想との比較

(参考) 2022年3月期の連結業績予想・実績 (2021年4月1日~2022年3月31日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益
当初業績予想 (2021. 5. 10公表)	96,000	5,000	5,000	3,400
修正業績予想 (2022. 2. 4公表)	96,000	6,000	6,000	4,700
実績	93,090	6,169	6,174	4,842

## Ⅱ. 事業別の概況

### 1. 建築工事

#### <受注高>

物流施設工事を中心に複数の大型工事を受注したことにより、前期比75億円の増加。

#### <売上高>

物流施設やマンション工事などの大型建築工事を中心に施工は概ね順調に進捗したものの、期初の手持ち工事高が減少していたことから前期比83億円の減収。

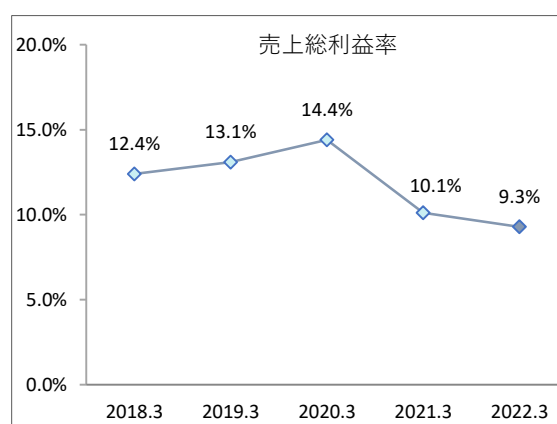
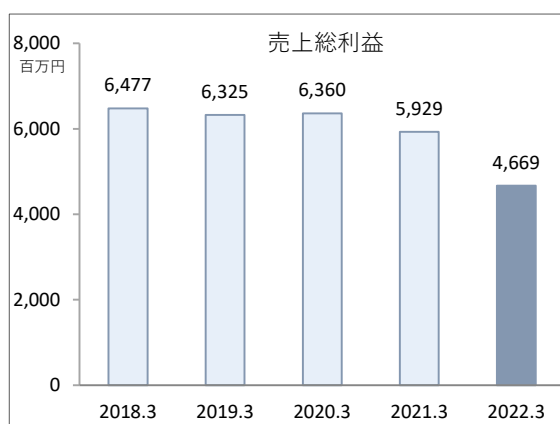
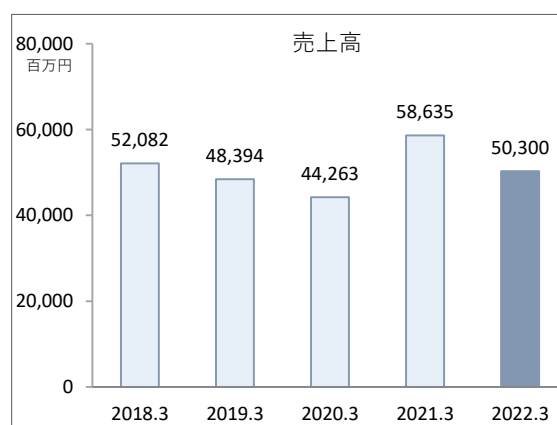
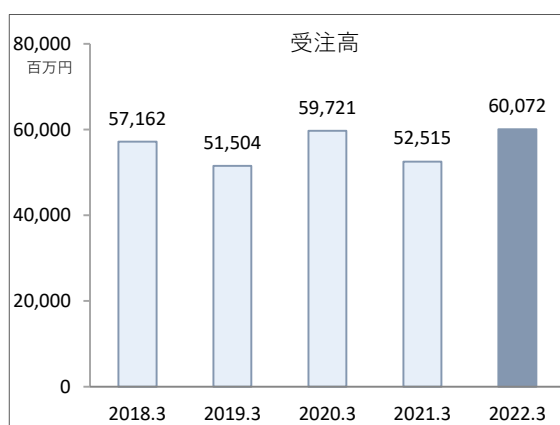
#### <売上総利益>

減収の影響により、前期比12億円の減益。

#### □ 受注高・売上高・売上総利益等の状況

(単位:百万円)

	2018.3	2019.3	2020.3	2021.3	2022.3	前期比	
	実績	実績	実績	実績	実績	増減額	増減率
連結受注高	57,162	51,504	59,721	52,515	60,072	7,556	14.4%
連結売上高	52,082	48,394	44,263	58,635	50,300	▲ 8,334	▲ 14.2%
連結売上総利益	6,477	6,325	6,360	5,929	4,669	▲ 1,259	▲ 21.2%
連結売上総利益率	12.4%	13.1%	14.4%	10.1%	9.3%		▲ 0.8pt



## 2. 土木工事

### <受注高>

官庁工事や民間の造成工事、鉄道土木工事などの大型工事を受注したことにより前期比37億円の増加。

### <売上高>

高速道路関連工事や北陸新幹線の新設工事を中心に大型の官庁工事が大きく進捗した前期に比べ、50億円の減収。

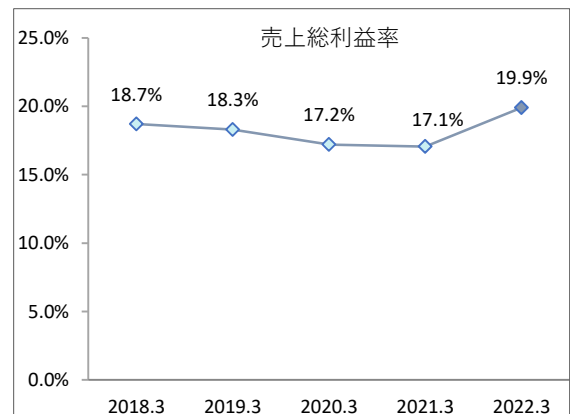
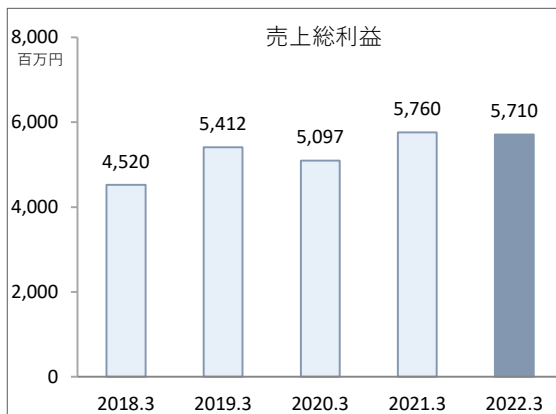
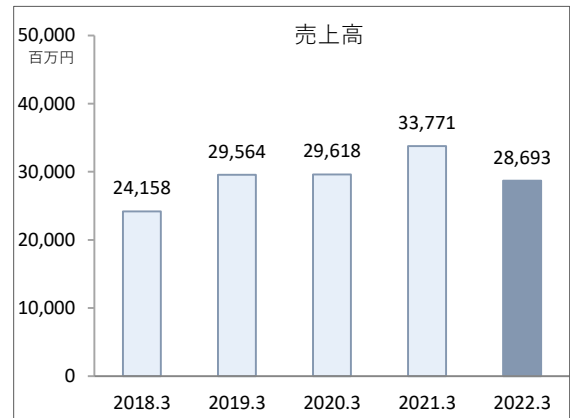
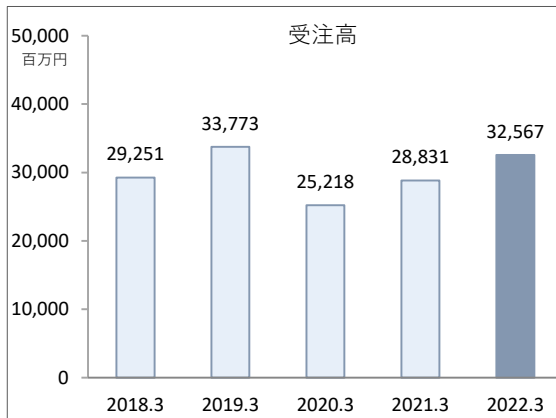
### <売上総利益>

減収の影響があったものの、工事採算が改善したことで前期比0.5億円の減益に留まる。

### □ 受注高・売上高・売上総利益等の状況

(単位:百万円)

	2018.3	2019.3	2020.3	2021.3	2022.3	前期比	
	実績	実績	実績	実績	実績	増減額	増減率
連結受注高	29,251	33,773	25,218	28,831	32,567	3,736	13.0%
連結売上高	24,158	29,564	29,618	33,771	28,693	▲ 5,077	▲15.0%
連結売上総利益	4,520	5,412	5,097	5,760	5,710	▲ 50	▲0.9%
連結売上総利益率	18.7%	18.3%	17.2%	17.1%	19.9%		2.8pt



### 3. 不動産事業

#### <売上高>

自社開発の産業用地販売は増加したものの、分譲マンションの引渡戸数が減少し、戸当り単価も低下したことで、前期比1億円の減収。

#### <売上総利益>

三重県桑名市で手掛けた大規模な自社開発用地の販売が寄与し、前期比5億円の増益。

#### <分譲マンション事業>

コロナ禍におけるモデルルームへの来場者数減少の影響を受け、前期の契約戸数が大きく減少したことから当期の引渡戸数は減少。一方、来期以降の売上計上に寄与する当期の契約戸数については、前期比64戸の増加。

#### □ 売上高・売上総利益等の状況

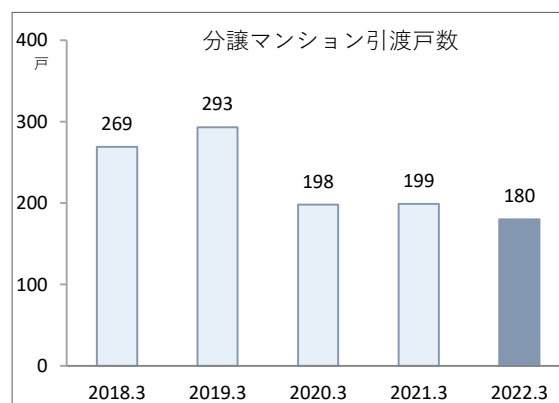
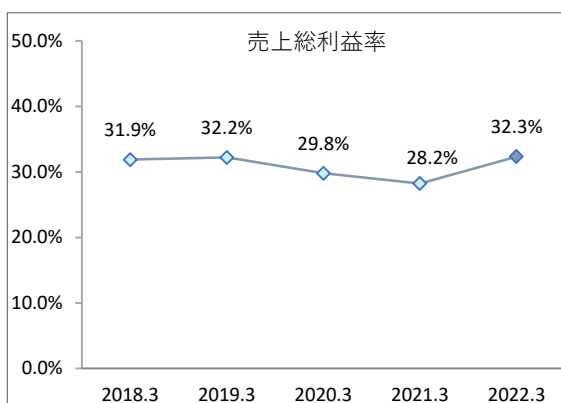
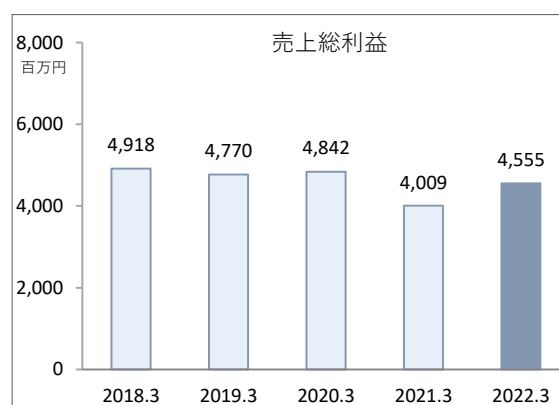
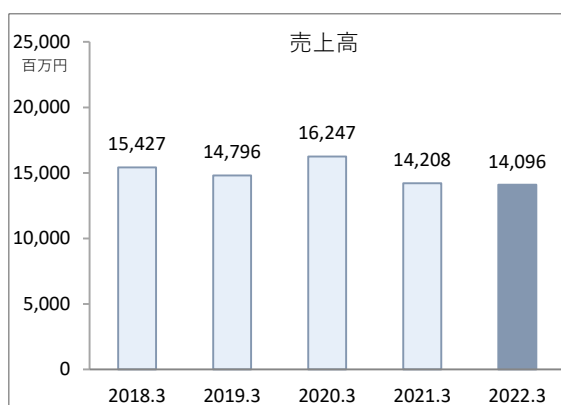
(単位:百万円)

	2018.3	2019.3	2020.3	2021.3	2022.3	前期比	
	実績	実績	実績	実績	実績	増減額	増減率
連結売上高	15,427	14,796	16,247	14,208	14,096	▲ 111	▲0.8%
連結売上総利益	4,918	4,770	4,842	4,009	4,555	545	13.6%
連結売上総利益率	31.9%	32.2%	29.8%	28.2%	32.3%		4.1pt

#### □ 分譲マンションの実績

(当社持分)

	2018.3	2019.3	2020.3	2021.3	2022.3	前期比	
	実績	実績	実績	実績	実績	増減額	増減率
引渡戸数	269戸	293戸	198戸	199戸	180戸	▲ 19戸	▲9.5%
契約戸数	242戸	290戸	184戸	130戸	194戸	64戸	49.2%



### Ⅲ. 連結財政状態

#### <貸借対照表>

総資産 : 開発案件への投資や賃貸物件の取得などにより、販売用不動産が45億円、有形固定資産が16億円それぞれ増加したものの、完成工事未収入金などの回収が進み、売上債権が168億円と大きく減少したことなどにより、総資産は134億円の減少。

負債 : 短期借入金の返済を進めたことなどにより、163億円の減少。

純資産 : 当期純利益の計上などにより28億円増加。

#### □ 連結貸借対照表

(単位:百万円)

資産の部		2021.3 実績	2022.3 実績	増減	負債の部		2021.3 実績	2022.3 実績	増減
流動資産	現金預金	22,091	22,011	▲ 79	流動負債	支払債務	16,408	10,394	▲ 6,014
	売上債権	49,652	32,808	▲ 16,843		短期借入金	37,740	25,400	▲ 12,340
	未成工事支出金	3,899	2,534	▲ 1,365		未成工事受入金	3,716	4,780	1,063
	販売用不動産	15,316	19,884	4,568		その他	3,599	4,573	974
	その他	4,309	3,195	▲ 1,113		合計	61,464	45,148	▲ 16,316
	合計	95,268	80,435	▲ 14,833	固定負債	長期借入金	5,200	5,000	▲ 200
固定資産	有形固定資産	25,613	27,272	1,658		その他	8,533	8,743	210
	無形固定資産	392	390	▲ 2		合計	13,733	13,743	10
	投資その他の資産	8,562	8,326	▲ 236	負債合計	75,197	58,891	▲ 16,306	
合計	34,568	35,988	1,419	純資産	54,639	57,532	2,892		
資産合計	129,837	116,423	▲ 13,413	負債・純資産合計	129,837	116,423	▲ 13,413		

#### □ 主要経営指標

(単位:百万円)

	2018.3実績	2019.3実績	2020.3実績	2021.3実績	2022.3実績
総資産経常利益率(ROA)	7.7%	7.4%	7.3%	6.3%	5.0%
自己資本当期純利益率(ROE)	9.4%	9.5%	10.2%	6.2%	8.6%
1株当たり当期純利益(EPS)	94.14円	103.15円	118.85円	75.86円	112.18円
自己資本比率	43.7%	45.8%	48.6%	42.1%	49.4%
有利子負債	14,957	23,737	26,057	42,940	30,400
NET有利子負債(※)	665	9,670	12,281	20,848	8,388

(※)NET有利子負債 = 有利子負債 - 現金預金

#### □ 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	2018.3実績	2019.3実績	2020.3実績	2021.3実績	2022.3実績
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,844	▲ 4,912	631	▲ 6,757	15,841
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲ 5,809	▲ 3,104	▲ 1,640	▲ 220	▲ 1,549
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲ 1,168	7,756	918	15,356	▲ 14,351

#### IV. 来期予想について

- 2023年3月期（通期）の通期予想は売上高1,070億円（過去最高）、営業利益60億円、当期純利益41.5億円を見込む

##### <売上高>

- 建設事業：当期末における次期繰越工事が増加したことで、当期実績を大きく上回る見込み。
- 不動産事業：分譲マンション事業は引渡戸数の増加を見込むものの、当期のような大型の自社開発産業用地の販売がなく、当期実績と同水準となる見込み。
- 合計：建設事業が大幅な増収となることで、売上高全体でも当期実績を大きく上回る見込み。

##### <利益>

- 建設事業：大幅な増収効果があるものの、利益率の低下により、当期実績を下回る見込み。
- 不動産事業：分譲マンション事業の増収の影響などにより、当期実績を上回る見込み。
- 合計：営業利益、経常利益は当期実績と同水準となる見込み。  
当期純利益は特別利益の計上があった当期実績を下回る見込み。

#### □ 2023年3月期連結通期予想

（単位：百万円）

	2022.3 実績	2023.3 通期予想	前期比	
			増減額	増減率
売上高	93,090	107,000	13,910	14.9%
営業利益 (営業利益率)	6,169 (6.6%)	6,000 (5.6%)	▲ 169	▲ 2.7% ▲ 1.0pt
経常利益 (経常利益率)	6,174 (6.6%)	6,000 (5.6%)	▲ 174	▲ 2.8% ▲ 1.0pt
親会社株主に帰属 する当期純利益 (当期純利益率)	4,842 (5.2%)	4,150 (3.9%)	▲ 693	▲ 14.3% ▲ 1.3pt

#### □ 中期経営計画数値目標(2025年度)

- 売上高（連結）1,300億円
- 営業利益（連結）100億円

#### V. 配当について

- 来期の配当は1株当たり38円の普通配当とし、当期の年間配当38円と同水準とする予定

	2018.3実績	2019.3実績	2020.3実績	2021.3実績	2022.3実績	2023.3予想
中間配当金	12円	12円	16円	17円	17円	19円
期末配当金	12円	16円	18円	17円	21円	19円
年間配当金	24円	28円	(※) 34円	34円	38円	38円
配当性向(連結)	25.5%	27.1%	28.6%	44.8%	33.9%	39.4%

(※) 創立70周年記念配当4円を含む



## VI. 参考情報

### 1. 連結業績の推移(5年分)並びに予想

(単位:百万円)

	2018.3実績	2019.3実績	2020.3実績	2021.3実績	2022.3実績	2023.3予想
売上高	91,668 (2.7%)	92,754 (1.2%)	90,129 (▲2.8%)	106,615 (18.3%)	93,090 (▲12.7%)	107,000 (14.9%)
営業利益	7,689 (1.1%)	7,705 (0.2%)	7,764 (0.8%)	7,362 (▲5.2%)	6,169 (▲16.2%)	6,000 (▲2.7%)
経常利益	7,714 (0.8%)	7,747 (0.4%)	7,829 (1.1%)	7,445 (▲4.9%)	6,174 (▲17.1%)	6,000 (▲2.8%)
親会社株主に帰属 する当期純利益	4,085 (▲19.8%)	4,476 (9.6%)	5,158 (15.2%)	3,292 (▲36.2%)	4,842 (47.1%)	4,150 (▲14.3%)

(注) ( ) 内は対前期比増減率であります。

<ご参考>

連結初年度 1991年3月期

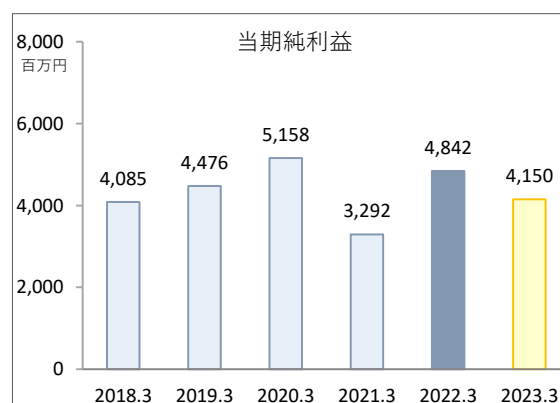
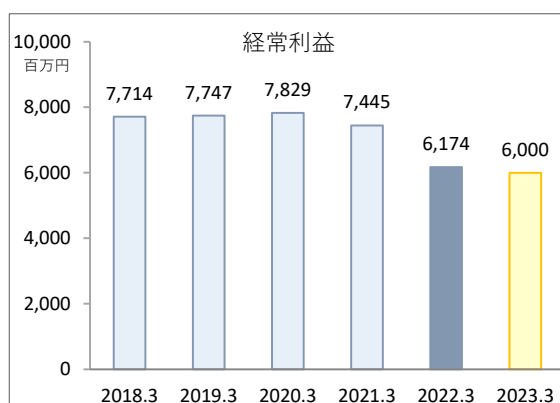
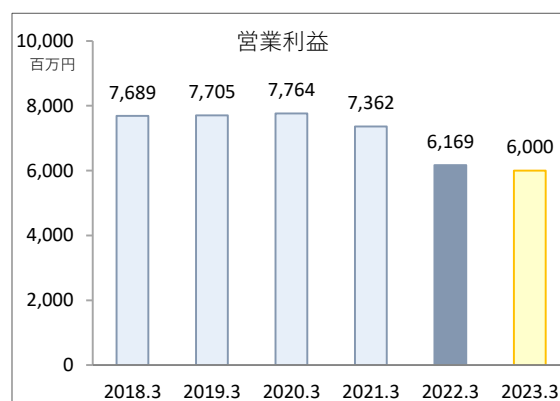
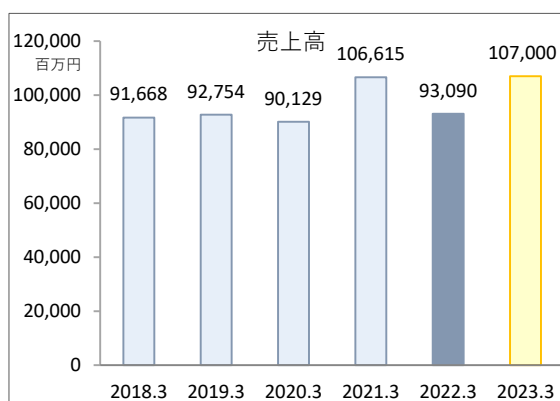
過去最高値

売上高 2021年3月期 106,615 百万円

営業利益 2020年3月期 7,764 百万円

経常利益 2020年3月期 7,829 百万円

親会社株主に帰属  
する当期純利益 2020年3月期 5,158 百万円



## 2. 連結子会社の状況（2022年3月31日現在）

名称	住所	資本金 (百万円)	決算期	事業内容	当期の業績
					売上高 (百万円)
矢作地所(株)	名古屋市 東区	800	3月	分譲マンション事業、不動産開発事業、不動産賃貸事業、不動産流通事業	8,931
矢作ビル&ライフ(株)	名古屋市 東区	400	3月	マンション管理事業、不動産管理事業、建築事業、サイン事業、損害保険代理業、ウッドピタ（木造戸建住宅耐震補強工法）事業	3,441
ヤハギ緑化(株)	名古屋市 東区	100	3月	緑化事業、ゴルフ場コース管理事業	2,743
(株)テクノサポート	名古屋市 東区	50	3月	パンウォール（補強土壁工法）事業、ピタコラム（外付耐震補強工法）事業、建設工事、技術開発、試験体製作	1,464
ヤハギ道路(株)	愛知県 豊田市	300	3月	舗装事業、土木事業、アスファルト合材製造販売事業、リサイクル事業	6,763
スタイルリンク(株)	東京都 中央区	50	3月	分譲マンションカスタマーサービス事業	141
南信高森開発(株)	長野県 下伊那郡高森町	50	3月	ゴルフ場経営（高森カントリークラブ）	273

- (注) 1. 矢作地所(株)、矢作ビル&ライフ(株)、ヤハギ緑化(株)、(株)テクノサポート、ヤハギ道路(株)、スタイルリンク(株)の6社は、矢作建設工業(株)の100%子会社であります。
2. 分譲マンションカスタマーサービス事業を行うスタイルリンク(株)とマンション管理事業等を行う矢作ビル&ライフ(株)は2022年4月1日付で矢作ビル&ライフ(株)を存続会社、スタイルリンク(株)を消滅会社として合併を行っております。

### 3. 受注高、売上高及び次期繰越高(連結)

#### □ 受注高

(単位:百万円)

区分			2021.3 実績	2022.3 実績	前期比	
					増減額	増減率
工事	建築	官庁	▲ 7	0	7	—
		民間	52,523	60,072	7,549	14.4%
	計		52,515	60,072	7,556	14.4%
	土木	官庁	12,119	8,704	▲ 3,414	▲28.2%
		民間	16,711	23,863	7,151	42.8%
	計		28,831	32,567	3,736	13.0%
	合計	官庁	12,111	8,704	▲ 3,407	▲28.1%
		民間	69,235	83,935	14,700	21.2%
	合計		81,346	92,639	11,293	13.9%

#### □ 売上高

(単位:百万円)

区分			2021.3 実績	2022.3 実績	前期比	
					増減額	増減率
工事	建築	官庁	—	0	0	—
		民間	58,635	50,300	▲ 8,335	▲14.2%
	計		58,635	50,300	▲ 8,334	▲14.2%
	土木	官庁	14,877	8,946	▲ 5,930	▲39.9%
		民間	18,893	19,747	853	4.5%
	計		33,771	28,693	▲ 5,077	▲15.0%
	小計	官庁	14,877	8,946	▲ 5,930	▲39.9%
		民間	77,528	70,047	▲ 7,481	▲9.7%
	小計		92,406	78,993	▲ 13,412	▲14.5%
	不動産事業等		14,208	14,096	▲ 111	▲0.8%
合計		106,615	93,090	▲ 13,524	▲12.7%	

#### □ 次期繰越高

(単位:百万円)

区分			2021.3 実績	2022.3 実績	前期比	
					増減額	増減率
工事	建築	官庁	—	—	—	—
		民間	52,469	(62,241) 62,064	9,594	18.3%
	計		52,469	(62,241) 62,064	9,594	18.3%
	土木	官庁	9,318	(9,076) 8,677	▲ 640	▲6.9%
		民間	16,649	(20,765) 19,585	2,936	17.6%
	計		25,967	(29,841) 28,263	2,295	8.8%
	合計	官庁	9,318	(9,076) 8,677	▲ 640	▲6.9%
		民間	69,119	(83,007) 81,650	12,530	18.1%
	合計		78,437	(92,083) 90,327	11,890	15.2%

(注) 経済情勢の変化等により事業計画が変更、中止となった工事(受注高1,180百万円)および会計基準の変更による影響額(575百万円)について、次期繰越高から控除しております。なお、( )内は控除前の金額であります。

#### 4. 受注高、売上高及び次期繰越高(個別)

##### □ 受注高

(単位:百万円)

区分			2021.3 実績	2022.3 実績	前期比	
					増減額	増減率
工事	建築	官庁	▲ 7	0	7	—
		民間	54,691	65,627	10,936	20.0%
		計	54,683	65,627	10,943	20.0%
	土木	官庁	8,240	5,070	▲ 3,169	▲ 38.5%
		民間	14,115	18,502	4,386	31.1%
		計	22,355	23,573	1,217	5.4%
	合計	官庁	8,232	5,070	▲ 3,161	▲ 38.4%
		民間	68,807	84,129	15,322	22.3%
		合計	77,039	89,200	12,161	15.8%

##### □ 売上高

(単位:百万円)

区分			2021.3 実績	2022.3 実績	前期比	
					増減額	増減率
工事	建築	官庁	—	0	0	—
		民間	62,546	53,549	▲ 8,997	▲ 14.4%
		計	62,546	53,549	▲ 8,996	▲ 14.4%
	土木	官庁	11,101	5,356	▲ 5,745	▲ 51.7%
		民間	15,338	15,320	▲ 18	▲ 0.1%
		計	26,440	20,676	▲ 5,763	▲ 21.8%
	小計	官庁	11,101	5,356	▲ 5,745	▲ 51.7%
		民間	77,885	68,869	▲ 9,015	▲ 11.6%
	不動産事業等		1,156	3,456	2,300	199.0%
	合計		90,143	77,683	▲ 12,460	▲ 13.8%

##### □ 次期繰越高

(単位:百万円)

区分			2021.3 実績	2022.3 実績	前期比	
					増減額	増減率
工事	建築	官庁	—	—	—	—
		民間	55,255	(67,332) 67,155	11,900	21.5%
		計	55,255	(67,332) 67,155	11,900	21.5%
	土木	官庁	7,834	(7,548) 7,150	▲ 684	▲ 8.7%
		民間	15,783	(18,965) 17,785	2,002	12.7%
		計	23,617	(26,514) 24,936	1,318	5.6%
	合計	官庁	7,834	(7,548) 7,150	▲ 684	▲ 8.7%
		民間	71,038	(86,298) 84,941	13,902	19.6%
		合計	78,872	(93,847) 92,091	13,218	16.8%

(注) 経済情勢の変化等により事業計画が変更、中止となった工事(受注高1,180百万円)および会計基準の変更による影響額(575百万円)について、次期繰越高から控除しております。なお、( )内は控除前の金額であります。

以上